

全問正解できましたか。1から3の漢字には同音異義語があり、読みは同じでも意味が異なるためどの漢字を選ぶか考えるひと手間が必要でした。

たとえば、1の「シオ」と書く文字には「塩」があります。「塩」は調味料の名前です。ここでは「シオの流れが速い」という内容から海水の満ち引きする現象を表現した「潮」が適切です。このように、漢字の問題では文章の内容を考えてふさわしい漢字を書くことを求めています。「潮」はほかに「潮が引く」や、「潮時」などとも使います。

同じように2と3についてもそれぞれの正解の理由と同音異義語を考えてみましょう。

2「ウツ(す)」の「映す」はものの姿や影を他の表面に現す意味です。「映画」がまさにこの意味で用いられた熟語です。ほかに「映像」「反映」などがあります。

家具を元の位置に「移す」。「移動」がすぐ思い浮かびますが、「心に移す(心変わりする)」や「時が移る」、「実行に移す」、などにも使います。

原文を「写す」。コピーのように本物そっくりに再現させるときに使います。「写真」という熟語に表れています。

このように、その文字を用いた熟語を連想できるといいですね。

3「カす」は「税を」が「課す」を選ぶ決め手です。「課す」は負わせる、わりあてるの意味です。「課税」という熟語はニュースでよく見かけるのではないのでしょうか。「宿題を課す」もこの文字を使います。「課題」という熟語もありますね。

「友だちに本を貸す」。反対語の「借りる」とともに用いて「貸借」という熟語があります。

鬼と「化した」は、別のものになるときに用います。「変化」がおなじみです。少し難しいですが、結婚する意味の「嫁する」、空中にかけわたす意味の「架する」もあります。

「ドヨウナミ」という漢字を書けますか。平成 22 年度第 2 回入試で出題したことがあります。「土用波」は夏の土用の頃起こる高波のことです。では「土用」とはいつ頃のことを指すのでしょうか。夏の「土用」によく食べられる料理は何か知っていますか。またそれはなぜ食べられるようになったのでしょうか。

日本人としての生活体験、経験を大切にしたいと思っています。それは日本語表現にも表れていて、ときにこうした出題を通してその知識の有無を試しています。それが 4 から 6 の問題でした。

4 「肥やす」は太らせる意味ですが、「私腹を肥やす」は公の立場を利用して自分の利益をはかる意味として、決まった言い回しです。

5 「推挙」は古めかしい印象を持ったのでしょうか。「推薦(せん)」と同じ意味です。

6 「羽目」は「羽目板」といって、もともと壁などに板を並べてはったものことです。「羽目をはずす」は調子に乗って度を過ごすことの意味です。「説教を食う羽目となった」の「羽目」は、困った事態の意味で用いられています。

ときに、皆さんとはなじみのない言葉を出題することがあるかもしれません。しかし、これらの言葉は本の中や新聞、ニュースで見聞きする表現です。正しい漢字の知識はただ漢字ワークをこなすだけでは身につけません。読書をしましょう。活字に触れましょう。そして初めて耳にしたり、目にした言葉や事からは必ず調べて知識としてたくわえていきましょう。

- 正解** 1. 潮                      2. 映(す)                      3. 課(す)  
4. 肥(やす)                      5. 推挙                      6. 羽目